

聖地・日光の秋

インカレロング大会 2007年11月11日 栃木県日光市

木村佳司

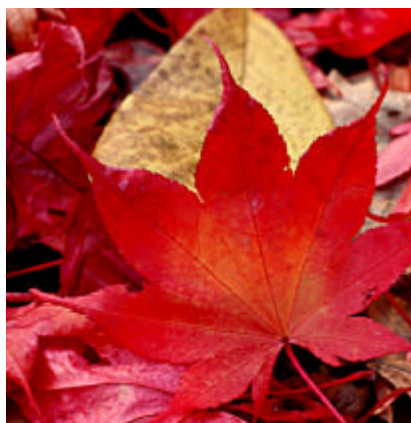
武士の聖地、徳川家康の霊廟・日光。そこはオリエンテーリングの聖地でもある。

2007年11月10日(土)

スプリントカップ

2007年11月11日(日)

日本学生オリエンテーリング選手権
ロングディスタンス競技大会



秋の日光

学生選手権が秋の日光で開催される。日光と言えば、東照宮などの社寺で有名な観光地。秋は紅葉の名所として全国区で知られている。日光の背後に控える中禅寺湖、華厳の滝、奥日光の高原、これに通じる「いろは坂」。

そしてそんな日光の秋に、今年は魅力的なイベントがもうひとつ。それが日本学生選手権大会ロングディスタンス競技、いわゆるインカレロングだ。

この競技会は大学生が主役だが、一般用参加者向けのクラスが設けられ、楽しめるコースを提供する。



日光東照宮の陽明門

学連の歴史を作ったテレイン

今回インカレロングで使用されるテレインは、日光市南部の日光宇都宮道路に沿って広がる丘陵地。過去には0-mapが作成されており「七里」、「日光口磐裂の霊水」(にっこうくちいわさくのれいすい)という地図名で呼ばれている。

このテレインは1985年3月に行われたインカレ初のリレー競技で披露された。通行可能度の良い森と、比高の少ない地形、住宅地や耕作地の少ないことなどから名テレインとして絶賛され、今まで合宿や選考会などで使用されてきた名テレインだ。

このように精密な地図整備が早くから進んできたテレインであったがゆえに、地図はGPS調査が行われていない時代からしっかりと作られていた。

しかし日光の他の地区にあるテレインや、すぐ近くの矢板地区にあるテレインはほぼ全てGPS測量による0-mapが整備されてきているのに対して、「七里」地区は遅れをとっている。

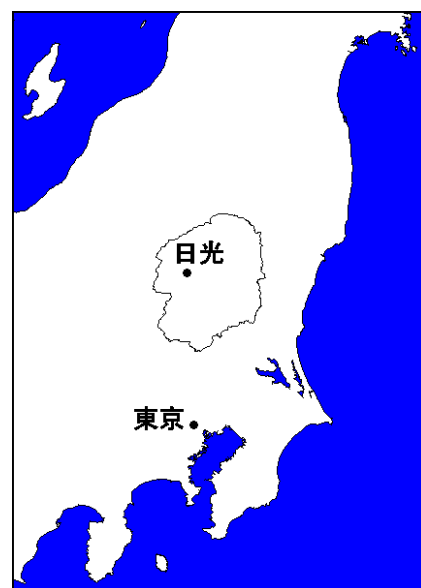
今回のイベントをきっかけに地図作成にGPSを投入し、「聖地」としての輝きを再び取り戻すような地図を整備する。

スプリントカップ2007

インカレロングの前日、2007年11月10日(土)には、ジェネシスマッピング社主催のスプリントカップが行われる。

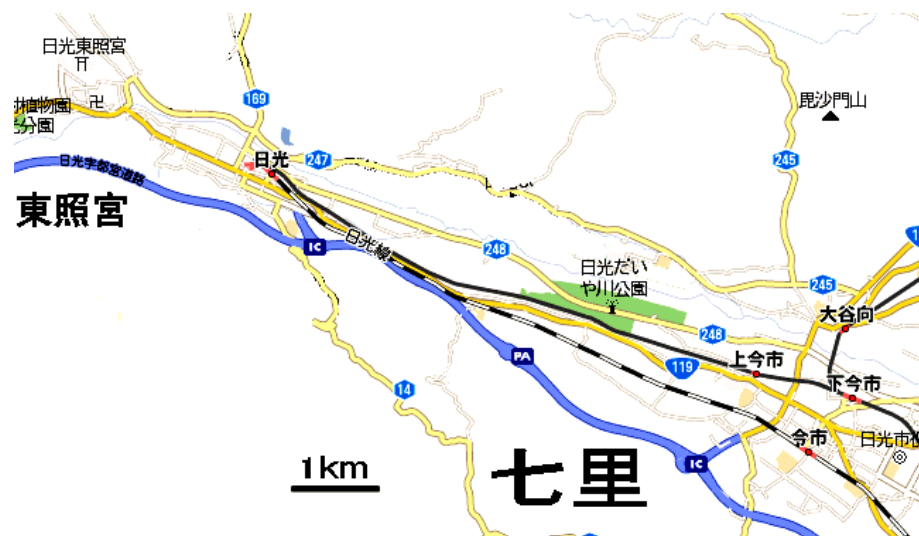
テレインは2001年に大規模整備された「日光だいや川公園」。日光市街地にも近い大谷川の河川沿いにできた大規模公園だ。0-map化されるのは今回が最初となる。

超高速ナビゲーションレースになることが予想されるこのレース。これに耐えるような、読みやすく正確な地図が作成される。



スプリント競技とロング競技。相反するふたつのレースがこの秋に日光で開催される。

(木村佳司)



日光駅の南東側に位置する七里地区と、日光だいや川公園